

女性交流センターには 女性の方の相談窓口があります。

女性問題相談

毎週火曜日から金曜日

午後1時から午後4時(祝日・年末年始除く)

電話 または 面接での相談

予約は必要ありません



女性専門相談 (専門カウンセラー対応)

毎月第3金曜日 と 奇数月第1金曜日

午後1時から午後4時(一人 50分)

12月17日	1月 7日	2月18日	3月 4日
	1月21日		3月18日

面接相談で予約が必要です。(託児あります)

お問い合わせ・申し込み 赤穂市女性交流センター 43-7800

赤穂市役所 市民対話課 43-6818

FAX 43-6810 MAIL jinken@city.ako.lg.jp

※マスク着用、検温等にご協力をお願いします。

気分転換に脳トレ いかがでしょうか

まずは「どんぐりころころ」を歌ってみましょう。

♪どんぐり ころころ どんぶりこ お池にはまって さあ大変

ドジョウが出てきて こんにちは 坊ちゃん一緒に 遊びましょう♪

では「どんぐりころころ」のメロディーで「ああ 人生に涙あり」の歌詞で歌ってみましょう

♪人生 楽ありや 苦もあるさ 涙のあとには 虹も出る 歩いてゆくんだ しっかりと

自分の道を ふみしめて♪ 歌えましたか?どちらもよく知っている曲と詩なのに、どちらかにつられて

歌えなくて頭が混乱してしまいます。これが脳のトレーニングになるそうです。秋のうたはどんぐりころころの他に何があるかなあと思い浮かべてみました。赤トンボ・夕焼け小焼け・ちいさい秋♪あらためて歌ってみると、どれもよい歌詞ですね。気持ちを切り替える方法の1つをご紹介します。

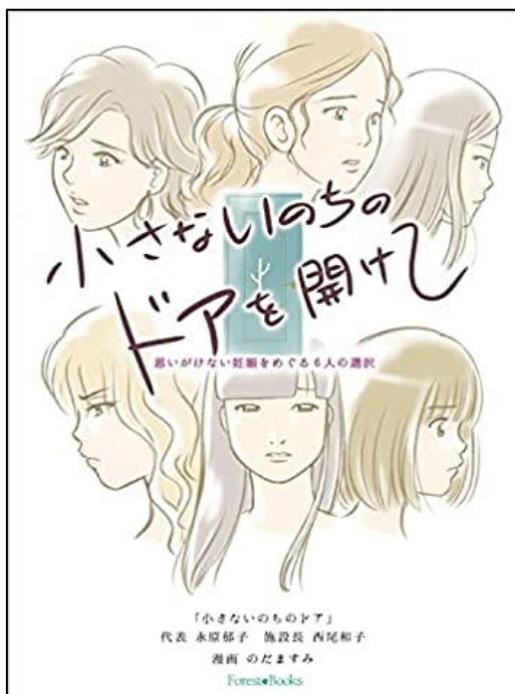


女性交流センターには、男女共同参画等に関する図書・行政資料をそろえ、誰にでも自由に閲覧できるような情報図書コーナーがあり、本の貸し出しも行っていきます。また、活動や交流の場として利用できる会議室がありますので、ぜひご利用下さい。



小さいのちのドアを開けて

永原郁子他 いのちのことば社刊



永原さんは神戸市に助産院を開業され、2018年に予期せぬ妊娠で悩む女性のために24時間相談が可能な「小さいのちのドア」をはじめました。2020年には孤立した妊産婦が妊娠中から産後までを安心して過ごすための施設「マタニティホーム・Musubi」を開設しました。

24時間相談を開いたことにより予期せぬ妊娠の結果、追い詰められ、途方に暮れている方々がたくさんいることを知り、妊娠したことで苦しむ女性の姿が今まで見えていなかったと語っています。

コロナ下での永原さん達の働きがテレビでも紹介されました。13歳の妊娠・不倫妊娠・風俗妊娠・中絶・DVによる妊娠など思いがけない妊娠をめぐる6人の選択がこの本で描かれています。

女性はなぜ妊娠という重さを一人でかかえなければならないのかと辛くなりました。辛いだけでなく限られた時間の中で決断をしなければならないのです。自分を

大切にすることや性について考えさせられました。小さいのちのドアは胎児や赤ちゃん、そして女性のいのちを守る場所です。

「小さいのちのドア 電話やメール、LINE や来所、どんな方法でも24時間相談可 ☎078-743-2403」



DVは身体的な暴力だけではありません



DVとは、身体的にケガを負わせるような暴力だけではなく、精神的・経済的・性的・社会的な圧迫なども含みます。これらの暴力によって、パートナーを自分の思い通りにしようとする支配行動がDVです。手を上げられたことはなくても、相手に対して萎縮し、人格を否定されるように感じているなら、二人の関係にはDVがあるのかもしれません。



発行/赤穂市市民部市民対話課(☎43-6818)・女性交流センター(☎43-7800)